

平城遷都 1300 年記念
春季特別展

大 唐 皇 帝 陵

大唐皇帝陵
2010.4.24 [土] ~ 6.20 [日]

曲祥儀 (石室平王墓)
(複製)

■開館時間 / 午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで) ■休館日 / 会期中は休館しません

■入館料 / 大人1200円 (950円)、高・大学生700円 (550円)、小・中学生450円 (350円)

() 内は20名以上の団体料金

■主催 / 平城遷都 1300 年記念春季特別展「大唐皇帝陵展」実行委員会

(奈良県教育委員会・財団法人 由良大和古代文化研究協会・社団法人 平城遷都1300年記念事業協会)
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館

■共催 / 中国陝西省文物局・陝西省文物交流中心・陝西省考古研究院

■後援 / 近畿日本鉄道株式会社

平城遷都1300年祭



奈良橿原考古学研究所附属博物館

THE MUSEUM, ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE

●7634-0065 奈良県橿原市歌津町50-2 ●Tel 0744-24-1185 ●Fax 0744-24-1355 ●URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>

平城遷都 1300 年記念春季特別展

大唐皇帝陵

1300 年前の平城遷都に始まった奈良時代は、わが国が国際社会に本格的なデビューを果たした時代でした。当時の東アジアを中心とした国際社会をリードしていたのが、中国・唐王朝です。唐の皇帝たちは、都が置かれた長安（西安市）の近郊に展開する唐皇帝陵群（唐十八陵）に眠っています。

唐皇帝陵の実態は依然多くの謎に包まれています。近年、陕西省考古研究院を中心に皇帝陵園や皇族墓の発掘調査が活発におこなわれ、大きな成果を上げています。とくに第9代玄宗の兄李憲（諡皇帝）の忠陵、第21代僖宗の靖陵は、皇帝陵内部の調査が原則許可されない中で例外的に墓室が発掘された貴重な調査例です。この展覧会では、唐王朝の皇帝と皇族の陵墓にスポットを当て、最新の考古学的成果を用いて、世界帝国の最高権力者が眠る唐皇帝陵の実像に迫ります。

国際シンポジウム 「玄宗皇帝と聖武天皇の時代」

平成 22 年 5 月 9 日（日）午前 10 時から（午前 9 時 30 分開場）

なら 100 年会館（奈良市三条宮前町 7-1）中ホール

張建林氏（陝西省考古研究院副院長）「唐皇帝陵における陵寝制度の発展と変遷」

張鑑氏（同資料室主任）「玄宗の兄・唐諡皇帝忠陵の等級について」

錦針氏（西安碑林博物館館長）「日中壁園墓における天文図・四神図・十二支像」

百橋明穂氏（神戸大学教授）「高松塚・キトラ壁園墓と中国の壁園墓」

武田佳知子氏（大阪大学副学長）「遣唐使と古代律令国家の衣服制度」

通訳 徐光輝氏（龍谷大学教授）、コーディネーター 菅谷文則（当研究所長）

研究講座 橿原考古学研究所 1 階講堂 午後 1 時から

5 月 16 日（日）妹尾達彦氏（中央大学教授）「唐王朝と皇帝陵」

下郷行弘（当研究所）「山に因りて陵を為す—唐皇帝陵の実態—」

5 月 30 日（日）東野治之氏（奈良大学教授）「未日した異国のの人々」

上原理子（当研究所）「陶磁器と色の世界」

6 月 13 日（日）杉本憲司氏（佛教大学特任教授）「中国皇帝陵の流れ」

岡村孝作（当館）「発掘された唐の陵墓」

唐の皇帝・妃の衣装を体験 会期中の土・日・祝日

中国の楽謡・二胡の演奏会 5 月 5 日（水）午前 11 時・午後 1 時 30 分から

唐楽を楽しむ（天理大学雅楽部）6 月 6 日（日）午前 11 時・午後 2 時から

プラネタリウムで古代ロマンを体験 —キトラ天文図と唐の時代—

5 月 22 日・23 日・29 日・30 日・6 月 5 日・6 日（いずれも土・日）

橿原考古学研究所 1 階アトリウム



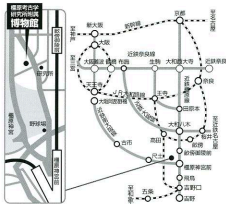
壁面「武人図」（靖陵）



橿原考古学研究所附属博物館

THE MUSEUM AND ARCHAEOLOGICAL INSTITUTE OF KASHIHARA, NARA PREFECTURE

●TEL: 0743-0300 受付時間: 9時30分～17時30分 ●TEL: 0744-24-1180 ●FAX: 0743-24-1300 ●E-MAIL: info@kahakuken.or.jp



●近鉄橿原線 橿原御陵前駅下車 西へ徒歩5分

●近鉄南大阪線 橿原神宮前駅下車 北へ徒歩15分